

SHIRAKOBATO

しろこぼと

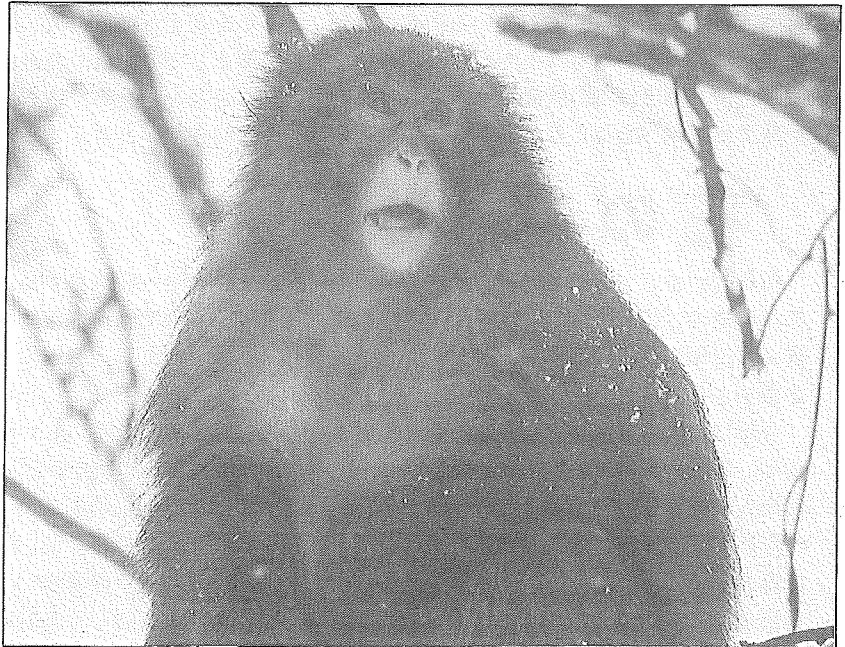


1992.

1

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 92

日本野鳥の会埼玉県支部

'92

頌春



(高橋美保子)

新年あけましておめでとうございます。今年こそ、野鳥にとってよい年でありますように……。

さて今回は、総務部、普及部、事業部、編集部、研究部の各部長さん、及び、野鳥記録委員長と鳥獣保護員のみなさんに、新年をむかえるに当たって思う事を語っていただきました。

骨組みづくりの総務部

海老原 美 夫

総務部は、一応部長は海老原（副支部長兼事務局長）が担当していますが、これは便宜的なまとめ役というだけで、メンバーには、鈴木支部長、松井副支部長、石川監事、あの草間幹事ら、そうそうたる人たちがいます。支部長みずからが一部員として支部の方針を考える場に最初から参加しているのが総務部です。部長はちいさくなっています。

最近少し開店休業の状態です。これはある意味では喜ぶべきことなのです。機構的に特

に問題が出てきていないということの意味するからです。現在の体制が整うまでは大変でした。総務部での多くの議論のなかから、支部の骨格ができあがってきたのです。

山積みの問題をある程度クリアして一服つけていた総務部は、支部設立以来8回目の新年を迎えた今は、自然保護に貢献する市民運動としての野鳥の会とはどうあるべきか、遠く未来を見詰めていく支部の目にならなければならぬと考えています。

花の普及部

中 島 康 夫

新年明けましておめでとうございます。昨年は皆様のご協力のお陰で80数回の探鳥会と様々な行事を行う事が出来、3000人以上の方が参加され充実した一年でした。

今年では会員も2000人に達しようとしております。それゆえ色々な方のニーズに答える為、20余人の普及部員一丸で頑張ります。

探鳥会は定例探鳥地も4ヶ所に増え、一泊探鳥会も年間数回催し、年間100回以上の探鳥会の開催を目指しております。恒例となっ

たりリーダー研修会も毎年開催しているのは全国の支部で当支部だけです。もちろん今年も行い、新しい力を導入して充実した支部作りに手助けをしていこうと思います。多くの方の会員の方が、素晴らしい野鳥や自然と出会い、そして人との出会いを大切に、バードウォッチングを人生の生きがいの一部としていただければ幸いです。又、減少する自然を守り育てる事も我々の義務でもあります。今年もご協力の程よろしくお願い致します。

後方支援部隊の事業部

福 井 恒 人

事業部は、こんな事をしています。普及部の後方支援部隊の役目。販売物を売

るという事は、普及活動の一部なんです。知らなかったでしょう。

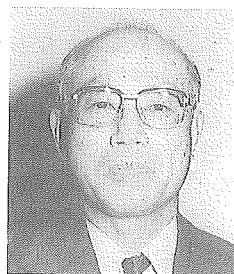
日本野鳥の会 埼玉県支部長 鈴木 忠雄

新年おめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年を迎えられたこととおよろこび申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、支部にとって多事多難な年でした。中でもカスミ網やゴルフ場の問題でしたが、カスミ網は一般販売等禁止の法律が施行され、ゴルフ場建設も各地で中断の動きが出ています。これらは皆様の団結のひとつの成果と思われれます。今や会員は 2,000名にも達しようとしていました、まことに力強い限りです。

会員は多くなりますと、当然リーダーの数も多く必要とされますが、我が支部ではリー

ダー研修会などで数多くの優れたリーダーが養成されていまして、ユニークな支部となっています。斯様なリーダーのもと、きめ細かな探鳥会の充実を図り、支部の益々の発展を願



うものです。更にまた、外国への探鳥会も行い、外国の鳥や、各国では如何に探鳥会が行われているのかも知りたいものです。

今年も輝かしい年であるよう祈念いたします。

自慢ついでに事業部の七不思議をお知らせします。①支部発足以来赤字知らず。②いつも仕入売上額とも予算をオーバーしている。③いつの間にか本部からの仕入れ額ランク上位入りした。④更に(更にですぞ)ベスト5を維持している。⑤表と陰の2人の部長がいる(我らが誇る埼玉県支部だけですぞ)。公開はここまで。残りの分は企業秘密。

これらの業績は、草間女史をはじめ多数の人の協力と努力、そして何より大切な事は、会員の皆様のご協力とご支援があったからできた事だと思えます。たとえわずかな利益でも、積もり積もればひとつの事ができます。少しでも野鳥保護のためになればと、事業部一同頑張っています。今後とも益々のご協力をお願いします。

一輪車操業の編集部

自転車操業ならいいのです、2輪ならば倒れるときは左右だけ。編集部は前後も危ない、まさに一輪車操業で頑張っています。

それがなんとか毎月発行できているのは、会員皆様一人ひとりの温かいご支援の賜物です。一輪車がふらつき始めると、必ず回りから手が伸びてきて支えてくれました。おかげさまで今年の9月号で通巻100号をむかえます。

通巻100号をむかえても、『しらこぼと』は

山 部 直 喜

会員みんなのもの、という基本方針に変更はありません。この基本方針のもとにこれからも、会員相互をつなぐ“たのしい”、そして、野鳥情報として“やくにたつ”紙面づくりに努力していきたいと思えます。

『しらこぼと』は、支部活動の確実な証しであり、具体的に触れることのできる足跡です。素晴らしい証しと足跡を残せるよう、今後とも会員皆様のご協力をよろしくお願い致します。

県内野鳥分布図作成を目指す研究部

小荷田 行 男

研究部員の協には1985年から5年間実施した1km四方メッシュの野鳥分布調査票、約3500枚がうず高く積まれていた。

4人のエンジニア(通信、半導体、機械)と教職1人の研究部、調査票の山を前に、野鳥分布データベースを、との話となる。将来

も使えるデータベースを目指しシステム構築が始まる。パソコンを知っている人なら誰でも入力できる事を目標に仕様検討が続く。会員の方々に入力をお願いすべくマニュアル作りが始まる。入力依頼を91年1月から開始。

調査票入力完了の見通しがついた91年春から発表資料を検討、パソコン・プリンタ出力

を版下に使用、印刷物として読み易い形へとプログラムの検討が続く。

県内を約 140のメッシュに分け夏、冬、周年の記号で一種ずつの分布図を作成、このためデータベース編集プログラム、出力プログラムの作成が行われている。

変なの大好き記録委員会

小林 みどり

新年のごあいさつのかわりに、記録委員会の仕事をご紹介します。ひとことで言えば、皆さんから寄せられた野鳥情報をもとに、埼玉県内で見られた鳥すべての記録を作ろう、というのがメインの業務です。すべて、と言っても、実際、対象となるのは、県内で初めて見られた鳥、または過去の観察例がたいへん少ない鳥になります。繁殖例や珍しい行動も、記録の対象になります。たとえば、秋、渡ってきたばかりのジョウビタキが囀っていた、

なんていうのは、記録委員一同大喜びの情報です。あれ？ヘンだな？と思ったら、遠慮なくお知らせ下さい。ただ、ひとつだけお願い。珍、迷鳥の出現にはどうしてもエキサイトしがちですが、鳥・環境・まわりの人達に対するマナー、これだけは絶対に絶対に、守って下さい。ルールに従って楽しい探鳥を、そして、おもしろい情報をどしどしお寄せ下さい。委員一同、楽しみに待っています。

今年もよろしくお願いたします。

鳥獣保護員とは

福井 恒人

鳥獣保護員を分類すると二種類になります。埼玉県自然保護課所属（県内全域）と環境管理事務所所属（区域指定）です。

業務は、管理（保護区：狩猟区）、調査（鳥獣の生息状況）、指導（法の遵守及び事故防止：猟期の安全対策等）、普及啓発（鳥獣保護の必要性の指導教育）、検査（狩猟者：捕獲者：鳥獣商：剥製業者個人の所持する鳥獣等及び飼養許可状況）、取締（保護鳥捕獲：カスミ網トリモチ使用：飼鳥獣商：野生鳥獣

飼養：無登録狩猟者：剥製業者）その他（捕獲許可の実態調査：保護運搬：保護活動－巣箱、餌台の設置）、以上の他に9月15日からカスミ網の所持、販売の取締が追加されました。これらの業務を、82名の保護員が各自独自に行っている事になります。このうち県内全域を担当するのは5人ですから、皆さんの期待に添えない事も多いと思いますが、一生懸命頑張ります。

はみだし連絡帳

会員の個展

鈴木忠雄支部長が、野仏の写真展を開催。

日時 1月7日（火）～31日（金）土曜休み
平日9:30～18:30 休日11:00～18:00
場所 画廊茶房「茶居花」（熊谷市箱田1-12-5 TEL 0485-25-1809）



普及部よりのお知らせ

探鳥会の運営については会員の皆様の協力により順調に行われていますが、今回、安全の確保且つ円滑な運営のために下記事項について、確認致しましたので協力をお願い致します。

「探鳥会のリーダーは探鳥会の安全・円滑な運営に支障をきたす恐れのあると認められた参加者については参加を認めないことができる」

1991年秋シギ・チドリ類調査報告

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

場所 a: 大久保農耕地(浦和市/大宮市)
 b: 入間川; 豊水橋-新富士見橋(狭山市)
 日時 a: 1991年9月16日 AM9:30~正午
 b: 1991年9月15日 AM9:00~11:00
 天候 a: b 小雨

表 1991年秋 シギ・チドリ類調査結果

鳥種	a	b
タマシギ	1	
シロチドリ	2	
イカルチドリ		1
ムナグロ	142	
キョウジョシギ	2	
トウネン	2	
クサシギ	1	
タカブシギ	17	
イソシギ	5	1
タシギ	185	
ジシギSP.	8	
アカエリヒレアシシギ	9	
	374羽	2羽
	11種	2種

9月16日に埼玉県内のシギ・チドリ類の一斉調査があいにくの雨にもかかわらず支部会員19人のご協力で実施されました。ご協力ありがとうございました。

観察された鳥種は大久保農耕地(秋ヶ瀬)では、89年秋の2種42羽、90年秋の4種86羽を大幅に上回る11種 374種となっています。

今年の特徴は、例年では最も数多く観察されるムナグロよりも、タシギの数が多し事です。また、アカエリヒレアシシギが9羽も観

察されたことも特筆すべきことでしょう。

(執筆 登坂久雄)

地鳴きコーナー

パークタウンの野鳥たち('91.11.16)

立岩恒久・和子(桶川市)

私達の住めるパークタウン若宮の庭の木々も色づき、ハナミズキ、ナナカマドには赤い実がいっぱいつき、サザンカの花も咲き始めました。風もないのに木々はひらひらと黄色の葉を落とし始める頃となりました。

「シジュウカラ」はツイーとさえずりながら枝から枝へと群れをなして忙しく虫を取り、「メジロ」はツイーと甘ったるい声でサザンカの蜜を吸い、「コゲラ」もギイーと仲間入り、木の幹をコツコツとたたいています。「ハクセキレイ」は空中でホバリングしながらフライキャッチングしチュチュンと舞い上がっています。「カワラヒワ」は高圧線に25羽も一列に並んでコロロ……と鳴いています。また茂みではチャチャ……と「ウグイス」もやって来ました。晩秋になりこの団地内もだんだんと野鳥の数が増えて来て私達も楽しませてくれます。

数日前からカン高いヒッヒッヒ……という「ジョウビタキ」の声が聞こえていました。小春日和のある日曜日、声のする方へ行ってみてびっくりしました。駐車場に置いてある車のバックミラーに己が美しい姿を写して見とれている「ジョウビタキ」の♀がいるではありませんか。時々尾をピリピリとさせて頭を上げたり下げたり、飛びはねてみたりしています。なんと可愛いくりくりした目、時々ハナミズキの赤い実を口にしては木のとっぺんに止まり、ヒッヒッ……カチカチと声を出して、またもとの車のバックミラーにもどって来ます。よく威嚇のためとされていますが、自分の姿にほれこんでいるとしか思われません。おかげで車のサイドガラスは、フンと食べかすの木の実でべっとりと汚れてしまいました。

野鳥たちと一緒に楽しめる晩秋の一日でした。



野鳥情報

カンムリカイツブリ ◇10月29日、本庄市の阪東大橋下流で5羽（井上幹男）。

アカガシラサギ ◇11月1日午前9時～11時、浦和市の白幡沼で冬羽1羽。翌2日、午前7時30分から10時まで観察したが見当たらなかった。写真あり（海老原美夫）。本種は、県内で過去5回以上の記録がある。（野鳥記録委員会）。

オシドリ ◇10月24日、深谷市の上武大橋下流でも2羽♀3羽（井上幹男）。

オカヨシガモ ◇10月22日、富士見市の柳瀬川で♂1羽（中村 治）。◇10月26日、戸田市道満で♂1羽♀2羽（駒崎政雄）。

スズガモ ◇10月29日、本庄市野阪東大橋下流で♀1羽（井上幹男）。◇10月29日、杉戸市大島新田の調整池で1羽（秋間利夫）。

ホシハジロ ◇10月24日、杉戸市大島新田の調整池で約30羽（秋間利夫）。

アカハジロ ◇10月26日、戸田市道満で♂1羽（駒崎政雄）。

ミサゴ ◇10月24日、深谷市の上武大橋下流で1羽（井上幹男）。

オオタカ ◇10月17日、本庄市の阪東大橋下流で1羽（井上幹男）。

ノスリ ◇10月17日、本庄市の阪東大橋下流で1羽（井上幹男）。◇10月26日、戸田市道満で1羽。チョウゲンボウに攻撃されていた（駒崎政雄）。

ハヤブサ ◇10月17日、本庄市の阪東大橋下



アカガシラサギ（海老原美夫）

流で1羽（井上幹男）。

チョウゲンボウ ◇10月17日、本庄市の阪東大橋下流で1羽（井上幹男）。◇10月30日、与野市の南小学校上空を通過する（石井 智）。

クイナ ◇10月24日、深谷市の上武大橋下流で1羽（井上幹男）。

オオバン ◇10月24日、杉戸市大島新田の調整池で2羽（秋間利夫）。

メダイチドリ ◇10月8日、深谷市の上武大橋下流でシロチドリ群れ中に1羽（井上幹男）。

ムナグロ ◇10月5日、深谷市の上武大橋下流で84羽（井上幹男）。◇10月20日、浦和市秋ヶ瀬のA区で300羽以上。A'区で200羽以上。A区の群れを確認して、すぐにA'区に行ったので、両区の固体は別固体であると思われる（福井 亘、馬場芳之）。

タゲリ ◇10月24日、深谷市の上武大橋下流で4羽（井上幹男）。◇10月29日、本庄市の阪東大橋下流で35羽。昼過ぎ、飛んでいたタゲリの群れが中州に降りて休もうとした時、中州にいたコチョウゲンボウにびっくりして、あわてて下流へ飛んで行ってしまった（井上幹男）。

ハマシギ ◇10月28日、志木市の柳瀬川、高橋～栄橋間で21羽（中司隆由）。

アオアシシギ ◇10月5日、本庄市の阪東大橋下流で4羽（井上幹男）。

ツルシギ ◇10月29日、浦和市秋ヶ瀬のAサイド区で1羽（石井 智）。◇10月5日、本庄市の阪東大橋下流で幼鳥1羽（井上幹男）。

オグロシギ ◇10月20日、浦和市秋ヶ瀬のA区で2羽（福井 亘、馬場芳之）。

オオソリハシシギ ◇10月20日、浦和市秋ヶ瀬のA区で1羽（福井 亘、馬場芳之）。

アジサシ 11月9日、本庄市の阪東大橋下流で2羽（井上幹男）。

アオバト ◇10月23日、浦和市皇山町の路上で死体を拾得する（星崎杉彦）。

カッコウ ◇10月8日、深谷市の上武大橋下流で若鳥1羽。毛虫を食べる（井上幹男）。

コミミズク ◇10月25日午後5時30分、本庄

市の阪東大橋下流の土手の上で1羽。私の
目の前をヒラリヒラリと飛び回っていた
(町田好一郎)。

カワセミ ◇10月10日、鶴ヶ島町高倉の池尻
池で1羽(宮内滋子)。◇10月10日、寄居
町の荒川、かわせみ荘対岸で♀1羽(堀口
芳嗣)。

アリスイ ◇10月9日、本庄市の阪東大橋下
流で1羽(井上幹男)。

アカゲラ ◇10月5日、本庄市の阪東大橋下
流のニセアカシアの木で♂1羽(井上幹男)。

ツバメ ◇10月30日、所沢市久米で2羽(佐
藤方博)。

ビンズイ ◇10月19日、戸田市道満で6羽。
上空を鳴きながら飛んでいくのを見る(駒
崎政雄)。◇10月20日、北本市石戸宿で7
羽(徳田和子)。

ヒヨドリ(渡り) ◇10月16日午前6時30分、
桶川駅西口公園上空を東北から南西へ24羽
の群れが渡る(立岩恒久)。

ジョウビタキ(初認) ◇10月17日午前9時
頃、本庄市の阪東大橋下流の草原で♀1羽
(町田好一郎)。◇10月20日、秩父市の羊山
公園で♀1羽。21日には、♂♀各1羽(山
岸昭治)。◇10月23日、大宮市掘崎町で鳴
き声を聞く(藤原真理)。◇10月28日午前
8時、吹上町の自宅前の電線でさかんに鳴
く(逸見 嶮)。◇10月28日、川本町芳沼
で♀1羽(田口浩司)。◇10月30日、所沢
市北秋津で1羽(佐藤方博)。

ノビタキ ◇10月29日、幸手市戸島で1羽
(秋間利夫)。

ツグミ(初認) ◇10月30日、秩父市の羊山
公園で1羽(山岸昭治)。◇10月31日、熊
谷市の田んぼで通勤途中で見ると(井上幹男)。

エゾビタキ ◇10月20日、北本市石戸宿で1



(厚沢清美)

羽(徳田和子)。

カシラダカ(初認) ◇10月24日、深谷市の
上武大橋下流で2羽(井上幹男)。

アオジ ◇10月24日、深谷市の上武大橋下流
で2羽(井上幹男)。◇10月27日、所沢市
北秋津で1羽(佐藤方博)。

オオジュリン ◇10月24日、杉戸市大島新田
の調整池で1羽(秋間利夫)。

イカル ◇10月19日、桶川市鴨川2丁目の雑
木林で3羽。「イイコイルー」と10分間く
らいさえずる(立岩恒久)。

シメ(初認) ◇10月16日、所沢市北秋津で
1羽(佐藤方博)。◇10月24日、深谷市の
上武大橋下流で4羽(井上幹男)。◇10月
31日、秩父市の羊山公園で1羽(山岸昭治)。

ムクドリ ◇10月14日午後5時50分、桶川市
若宮の自宅上空をめぐらから出た100羽の
群れが西北へ飛ぶ(立岩恒久)。◇10月15
日午後5時頃、熊谷市市役所通りのけやき
の並木に、1万羽を越すと思われる群れが
めぐら入り。空を覆う大群で、声がビルに
響いて大変うるさい。近隣の人の話では毎
年この頃ムクドリが集まるが、今年は特に
多い。並木の葉が落ちるといなくなるのと
こと(海老原美夫)。

表紙の写真

ネイチャーフォトコンテスト1991 入選作

ニホンザル

サル年の新年号だから表紙のサルだという
のは、発想があまりにも単純すぎますか。や
はりそうですね。どうもすみません。

このサルは、餌づけされたり、温泉でふや
けたりしている手合いではなく、雪を踏みし

めながら登っていた山道で出会った、野生味
あふれる若武者です。レンズを向ける私を、
悠然と無視していました。やたら反省なども
しません。彼の強さに免じて、安易な発想を
許してください。 海老原美夫(浦和市)

行事あんない



久喜市・昭和池探鳥会

期日：1月5日(日)
集合：午前9時10分 JR東北線白岡駅北口
(集合後、バスで現地へ)または午前
9時45分 昭和池駐車場
担当：中島康夫、松井昭吾、浅田徳次、小林
恒雄、五十嵐浩
見どころ：新春カモ・ウォッチング。おだや
かな初春の陽光を浴びたカモの大群。
新しい年には、そのカモの数だけ、す
てきな出会いがありますように。

伊豆沼探鳥会

期日：1月12日(土)～13日(日)
定員に達しましたので締切りました。
ご応募ありがとうございました。なお、
参加される方には、詳しい案内書をお
送り致します。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：1月12日(日)
集合：午前9時20分 秩父鉄道大麻生駅前
交通：秩父鉄道熊谷9:00発または秩父鉄道寄
居8:52発に乗車
担当：諏訪隆久、岡安征也、林滋、関口善孝
諏訪夕香子、菱沼一充、神沼幸三郎
見どころ：冬鳥と、もっと親しくなろう。木
の葉がすっかり落ちて、鳥の姿が見や
すくなります。でも、近づきすぎない
ようにね。マナーを守って、紳士・淑
女のバードウォッチングを。

探鳥会への参加は、特別な場合を除いて予
約申込みの必要はありません。受付は探鳥会
当日。参加費は一般100円。会員及び中学生
以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、
ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。小雨決行で
す。解散時刻は、特に記載のない場合、正午
から午後1時ごろになります。

◇はじめて探鳥会に参加される方へ◇

集合場所へ着いたら、まず“日本野鳥の会
埼玉県支部”の旗か、青い腕章をつけた担当
者を探して、遠慮なく声をおかけ下さい。私
達もあなたを探していますので、ご心配なく。

ガン・カモ類一斉調査

期日：1月15日(水・祝)
集合：午前9時
埼玉県支部では、今年も全国一斉調査に参
加します。下記の地点は特に、多くの会員
のご協力をお願いしたいところです。

◇久喜市・昭和池

集合場所：昭和池駐車場
担当：中島康夫

◇所沢市・狭山湖

集合場所：狭山湖堤防の上
担当：杉本秀樹

いずれの地点も解散は昼近くの予定。雨天
決行です。調査ですので参加費は要りません。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：1月19日(日)
集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東
口(集合後、バスで現地へ)または、
午前9時 浦和市立郷土博物館前
後援：浦和市立郷土博物館
担当：楠見邦弘、福井恒人、渡辺周司、手塚
正義、伊藤芳晴、笠原伸子、田口浩司
見どころ：環境いろいろ、鳥いろいろ。林、
川、田畑、住宅地などがモザイク模様
のように集まった三室地区。だから、
里の鳥も、水辺の鳥も、いろいろ見ら
れます。そして、ビギナーからベテラ
ンまで、いろいろな人が見に来ます。

吉見町・吉見百穴周辺探鳥会

期日：1月19日（日）

集合：午前9時30分 東武バス停百穴入口前

交通：東武東上線松山駅東口8：58発または高崎線鴻巣駅東口8：50発バスに乗車

担当：榎本秀和、岡安征也、内藤義雄、吉原俊男

見どころ：一段とキレイになったカモの雄たち。マガモもコガモもハシビロガモも、みんなあでやかな繁殖羽に。吉見の森に囲まれた静かな沼で、暑いラブストーリーが始まる季節。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：1月25日（土）午後1時～2時ごろ

会場：支部事務局

案内：出来たての『しらこぼと』が読めるかわりに、郵便受けをのぞく楽しみが、ひとつ減ってしまいます。それでもかまわない、という方、お手伝いに来て下さいね。

野鳥写真クラブ定例会

とき：1月25日（土）午後2時ごろ～5時

会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ

案内：見慣れた鳥、見慣れた景色も、フィッダーを通してながめれば、……新しい発見をしたら、写真クラブで披露を。

川口市・差間探鳥会

期日：1月26日（日）

集合：午後3時 JR武蔵野線東浦和駅前

解散：午後5時頃

担当：手塚正義、伊藤芳晴、田口浩司、笠原伸子

見どころ：たそがれ時の鳥たち。夕日がアン原をオレンジ色に染めるころ、眠りにつく鳥たちの様子をのぞいてみましょう。帰りは暗くなるけれど、頼りがいのあるリーダー達がいるから大丈夫。

狭山市・入間川探鳥会

期日：1月26日（日）

集合：午前9時 西武新宿線狭山市駅西口

解散：稲荷山公園にて正午頃

担当：長谷部謙二、三田長久、石井幸男、久間博文、柳原正昭、小野公明

見どころ：残念なことに、現在、カモは少ないです。でも、こんなときこそ探鳥会に参加して、新しい楽しみ方を見つけてください。稲荷山公園では、ピンズイやエナガに会えるかもしれません。

注意：西武新宿線のダイヤ改正があります。時刻表をお確かめの上、お出かけ下さい。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：2月2日（日）

集合：午前9時20分 北本観察公園駐車場

交通：JR高崎線北本駅西口より、リーダーの指示に従ってタクシーに分乗して下さい（午前8時45分ごろから）。

担当：岡安征也、榎本秀和、内藤義雄、吉原俊雄、関口善孝

見どころ：雑木林の仲間たち。冬枯れの林の枝から枝へ、元気いっぱい飛び回る、シジュウカラ、ヒガラ、コゲラの仲良しグループ。やさしいハートのあなたも、きっと、仲間に入れてもらえます。

茨城県・菅生沼探鳥会

期日：2月2日（日）

集合：午前8時45分 東武伊勢崎線北越谷駅東口

交通：東武伊勢崎線新越谷8：31発または春日部8：22発に乗車。集合後バスで現地へ。バス代は600円程。小銭をご用意下さい。

解散：現地にて午後2時頃。

担当：中島康夫、松井昭吾、楠見邦博、入山博、草間和子

見どころ：都市近郊の小さな白鳥の湖。毎年百数十羽のコハクチョウが飛来する菅生沼。昨年は、マガン1羽も越冬。そのほか、さまざまな冬鳥が、沼周辺の豊かな自然を慕って、集まってきます。

注意：車で来られる方は、前もって中島までご連絡下さい

行事報告

9月16日(月、休) シギ・チドリ類調査

ボランティア 荒木恒夫、石井智、伊藤芳晴、漆原正浩、漆原豊、海老原美夫、金井祐二、工藤洋二、佐久間博文、桜庭勇、新堂克浩、登坂久雄、内藤義雄、福井恒人、福井亘、松井昭吾、三田長久、吉本富美子、渡辺喜八郎(19人) あいにくの小雨でしたが、浦和市～大宮市の通称秋ヶ瀬地区と狭山市の入間川で調査が行われました。どうもご苦労様でした。

光明、角田真喜子、北川慎一、楠見文子、小林みどり、佐久間博文、関口善孝、田口浩司、立岩恒久、林滋、菱沼一充、菱沼洋子、福井恒人、藤野富代、逸見嶮、町田好一郎、森本國夫(22人) 企画・準備から物品輸送、展示・撤去作業、販売、来場者への対応など、様々な面でのご協力をいただき、今年も盛大なイベントができました。ご苦労さまでした。

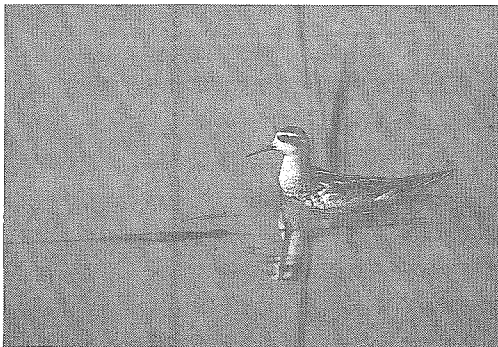
10月26日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア 荒木恒夫、岩波勇一、海老原教子、海老原美夫、遠藤薫、角田真喜子、鈴木啓紀、佐久間博文、墨江光子、藤野富代、町田好一郎(11人)



10月26日(土) 写真クラブ定例会

集まった人 11人 **作品発表した人** 2人



アカエリヒレアシシギ(海老原美夫・浦和市)

10月27日(日) 蓮田市 黒浜沼

雨のため中止。

10月27日～11月4日(日～月) バードウォッチングウィーク展『人も野鳥も地球の仲間』

ボランティア 青沼俊雄、荒木恒夫、入山博、海老原教子、海老原美夫、大嶋己恵子、小野

11月3日(日) 上尾市 丸山公園

人 32人 **天気** 晴 **鳥** カワウ ダイサギ コサギ カルガモ タカSP コジュケイ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(32種) 恒例の早朝探鳥会。早朝にもかかわらず、大勢の参加者がありました。早々にカワセミ、ジョウビタキが現れ、一気に盛り上がる。その後もカラ類の混群に出会い、ヤマガラを全員でじっくり観察することができた。また、コゲラが木に穴をあけている所も見られた。好天に恵まれ、満足のいく探鳥会でした。

(中島康夫)

11月9日(土) 栃木県 奥日光

人 37人 天気 晴 鳥 マガモ コガモ
ヒドリガモ キンクロハジロ トビ ハイタ
カ チョウゲンボウ アカゲラ アオゲラ
コゲラ セグロセキレイ カワガラス ミソ
サザイ ツグミ コガラ ヒガラ シジュウ
カラ ゴジュウカラ キバシリ カシラダカ
マヒワ カケス ハシボソガラス ハシブト
ガラス (24種) 暖かい好天に恵まれ、赤沼から湯滝まで、のんびりとバードウォッチングができました。例年に比べ、少し鳥の数が少ないように思われた。それでも、マヒワやツグミの群れに会うことができ、カワガラスやミソサザイ、ゴジュウカラなども見られた。帰りの電車の中では、鳥談義に花が咲き、楽しい一日でした。(中島康夫)

11月10日(日) 川口市 差間

人 23人 天気 曇後晴 鳥 カワウ ダイ
サギ コサギ カルガモ オナガガモ チョ
ウゲンボウ コジュケイ キジ タシギ ユ
リカモメ キジバト ヒバリ キセキレイ
ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ
ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウ
カラ ホオジロ カシラダカ アオジ カワ
ラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ
ハシボソガラス ハシブトガラス (31種) 朝は肌寒かった天気も、出発後は小春日和に回復。ジョウビタキ、ツグミ、カシラダカ、…ユリカモメも芝川下流から上がって来た。立冬を過ぎ、冬らしくなってきた。差間にも冬鳥がやってきた。これから1年で最も鳥の種類が多い時期だ。それにしても、セイタカアワダチソウの繁殖力には驚く。休耕田を埋めつくす勢いだ。(手塚正義)

11月10日(日) 大宮市 深作川遊水池

人 34人 天気 晴 鳥 カイツブリ カワ
ウ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ
オナガガモ トビ チョウゲンボウ パン
タゲリ イソシギ タシギ ユリカモメ シ
ラコバト キジバト カワセミ ヒバリ キ
セキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ
タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグミ メジロ

ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズ
メ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガ
ラス (34種) 数年前の遊水池の工事のころは
多くのシギ・チドリが観察された所ですが、
現在は団地ができはじめ、大分景観が変わ
りました。初めての探鳥会ということもあり、
34人もの参加者が有り、期待を込めてのスタートとなりました。田圃では、30羽のタゲリが舞い、全員楽しめた。他には、シラコバトやシメ、ツグミなどが見られ、初めての所にしては上出来の探鳥会でした。(中島康夫)

11月17日(日) 長瀨町 長瀨

人 34人 天気 晴 鳥 カイツブリ コサ
ギ カルガモ コガモ オオタカ イカルチ
ドリ イソシギ キジバト カワセミ アオ
ゲラ コゲラ キセキレイ セグロセキレイ
ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ シ
ジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ
カワラヒワ イカル シメ スズメ ムクド
リ オナガ ハシボソガラス ハシブトガ
ラス (29種) 朝の曇り空もだんだん晴れてきて、
さわやかな秋。船下りやカヌー下りや魚釣り
と、荒川は年々賑やかになり、鳥を見るには
ちょっと無理かなあとと思いながら始めた長瀨
探鳥会ですが、毎回新しい何かがあり、これ
からもずうっと続けていきたいと思っています。
今回は全員でカワセミを見られましたが、
オシドリは遅刻して、解散後にやっと登場し
ました。(林 滋)



上の長瀨探鳥会の写真をご希望の方は、町田好一郎さん

まで、切手 300円を同封してお申込みください。



会 員 制 度

正会員 本部発行の『野鳥』誌と支部発行『しらこぼと』の両方が毎月届きます。

年会費 6,000円 入会金 500円

普通会員 『しらこぼと』だけが届きます。

年会費 2,500円 入会金 500円

家族会員 正会員や普通会員の家族。

年会費 500円 入会金なし

入会手続＝郵便振替用紙の通信欄に、会員の種別、住所、氏名、電話番号、生年月日、職業を書いて、「東京 4-98389財団法人日本野鳥の会」にお送りください。

ジュニア会員 中学生以下。『しらこぼと』だけが届きます。本部会員としては登録されません。年会費 1,000円 入会金なし『野鳥』誌も読みたい人や本部会員として登録したい人は、正会員または普通会員として入会してください。また、高校生以上になったときは、あらかじめ正会員または普通会員として（入会金も払って）入会手続が必要です。

入会手続＝郵便振替用紙の通信欄に、ジュニア会員として入会する事と、住所、氏名、電話番号、生年月日を書いて「東京9-121130日本野鳥の会埼玉支部」にお送りください。

支部賛助会員 支部独自の制度で、正会員のうち、特に年間 8,000円の支部賛助金をいただく方です。正会員としての会費更新通知は本部から来ます。8,000円については、本来なら支部事務局からご案内すべきところ、事務処理上の問題で対応できず、現在は任意に納入いただいています。

他の支部に入っていて、埼玉県支部にも入会したい方は、会費更新の際に、埼玉県支部にも入会することを本部会員係(03-3406-7289)に告げて、年会費を2,000円加えてお送りください。年度途中で入会したい方は、

会費の月割り計算などが必要ですので、本部会員係にご相談ください。

埼玉県支部から他の支部に移りたいとき、やはり本部会員係にご相談ください。

ご寄付にお礼

岡野強10,000円、神沼幸三郎 1,000円、坂井和子 1,000円、田中国光10,000円、三菱信託銀行ロビー展来場者 3,200円。

(50音順・敬称略)

1月の土曜日当番(2時～6時)

- 4日 事務局休み
- 11日 山部直喜 海老原美夫(編集会議)
- 18日 草間和子 菱沼一充
- 25日 袋づめの会(1時から)

会 員 数 は

12月1日現在 1,727人です

活 動 報 告

- 11月16日 役員会議(司会・諏訪隆久、各部の報告・評議員会出席者・年末講演企画・その他)。編集会議(12月号編集)。
- 11月20日 県庁自然保護課にて補助金に関する手続き(海老原)。
- 11月23日 研究部会議(ガンカモ調査打合せ・その他)。



毎月『しらこぼと』の会の2週間前の土曜日が編集会議、及び編集作業日だ。一応午後2時からとなっているものの、時間通りに集まれる部員は少ない。来た人から自分の分担を何となく見つけて作業に入っていく。4時ごろ、だいたい顔もでそう。皆、手は休めないが心は一つ、終わった後のアルコールだ。このパターンがいいのか悪いのか分からないが、編集部の強みであることは確かである。(山部直喜)

『しらこぼと』1992年1月号(第92号) 定価 100円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 鈴木忠雄 編集発行 日本野鳥の会埼玉支部 TEL・FAX 048(832)4062
 〒336 浦和市岸町4丁目26番8号プリムローズ岸町107号 郵便振替東京9-121130
 印刷 望月印刷株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)